D01385401H

ESOTERIC

N-05XD

NETWORK DAC/PREAMP

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

取扱説明書は、ESOTERIC ウェブサイト (https://www.esoteric.jp/jp/) からダウンロードすることができます。

本機を使用するには、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。

目　次

お使いになる前に……4
　付属品の確認……4
　設置について……4
お手入れ……5
使用上の注意……5
　電源の極性について……5
電波について……6
MQA (Master Quality Authenticated)……6
安全にお使いいただくために……7
アンプとの接続……10
ES-LINK Analog で接続する……11
　ES-LINK Analog について……11
　インテグレーテッドアンプと
　ES-LINK Analog で接続する場合……11
　パワーアンプと ES-LINK Analog で接続する場合……11
ソース機器との接続……12
ネットワークと USB の接続……14
ヘッドホンの接続……16
リモコンについて……17
各部の名称 (リモコン)……18
ディマー……19
各部の名称 (本体)……20
基本操作……21
ネットワークプレーヤー機能を使用する……22
USB DAC 機能を使用する……23
　対応 OS……23
　ドライバーのインストール……23
　再生アプリケーションソフト
　「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード……23
　音楽ファイルを再生する……24
Bluetooth® 機能を使用する……25
　Bluetooth® 無線通信について……25
　Bluetooth 機器とペアリングする……26
　Bluetooth 機器を再生する……26
設定モード……27
　設定のしかた……27
設定 1……28
　L/R バランス調整……28
　入力ゲイン調整……28
　クロック設定……28
　音量表示設定……29
　ヘッドホン最大音量設定……29
　アナログ音声出力設定……29
　ディスプレー自動消灯設定……29
　オート・パワー・セーブ設定……30
設定 2……30
　PCM 再生時のデジタルフィルター設定……30
　PCM 再生時のΔΣ周波数設定……30
　DSD 再生時のデジタルフィルター設定……31
　ETHERNET 端子の LED 設定……31
　ネットワーク入力回路電源設定……31
　Bluetooth モジュール常時動作設定……31
　ファームウェアのバージョン表示……31
　設定 3 表示……31
　RAAT モード……32
設定 3……33
　アナログ音声出力レベル設定……33
　スルーアウト出力設定……33
　ミュートレベル設定……34
　リモコンの AMP ボタン設定……34
　リモコン入力端子 (RS-232C) 設定……34
　トリガー信号出力設定……34
　トリガースタートソース設定……34
困ったときは……35
　一般……35
　クロック同期……35
　ネットワーク再生……35
　パソコンとの USB 接続……35
　Bluetooth 接続……36
　出荷時の状態に戻すには……36
仕　様……37
保証とアフターサービス……39
寸法図……40

注意

本機のアナログ音声出力端子 (LINE OUT) は、選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

最初にアナログ出力設定をしてからご使用ください。

設定方法は、27 ページの「設定モード」、29 ページの「アナログ音声出力設定」と 33 ページの「アナログ音声出力レベル設定」をお読みください。

MQA and the Sound Wave Device are registered trade marks of MQA Limited.© 2016

Being Roon Ready means that ESOTERIC uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.
Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

LDAC™ および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

"DSD" is a registered trademark.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Mac and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

App Store is a service mark of Apple Inc.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Android is a trademark of Google Inc.

付属品の確認

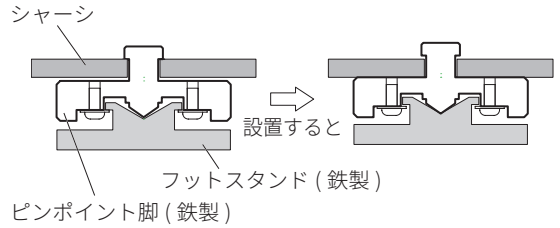
万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (41 ページに記載) にご連絡ください。

電源コード× 1
リモコン (RC-1334) × 1
リモコン用乾電池 (単 3) × 2
フェルト× 3
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。

ピンポイント脚とフットスタンドは、ぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置後にシャーシとピンポイント脚との間にすき間があるときは、ピンポイント脚をネジを締めこむ方向に回すと、すき間がなくなります。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

Google Play は、Google Inc. の商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは、当社ホームページ内の製品ページ に記載します。
https://www.esoteric.jp/jp/product/n-05xd/download

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

使用上の注意

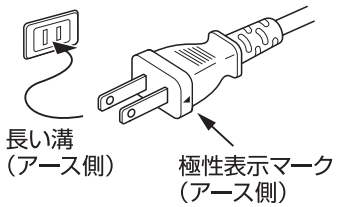
- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。

- ご使用になったカセットテープ、CD、SD カード、USB フラッシュメモリー等の記録媒体（以下「媒体」といいます）が原因で本機が故障した場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。
  ※長年ご使用になっていない、または、すでに長時間使用された媒体、カビ・汚れ・ベタつき・折れ・捻じれなどが見られる媒体のご使用は、避けてください。
- 媒体に起因して生じた製品または媒体の破損、テープの巻き込み、データの喪失等につきましても、弊社では一切の責任を負いかねます。また、その他の逸失利益、間接的・派生的な損害、その他特殊な事情から生じた損害につきましても、同様です。
  ※万が一の場合に備えて、あらかじめデータのバックアップの作成等、お客様にてデータの保存や保護措置を講じられることをお勧めいたします。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク (▲) は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造すること
  - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH：FH-SS 変調方式を表します。
1：与干渉距離は 10m です。
本製品は日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
  通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
  - ・2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
    電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ・ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
    音声や映像にノイズがのることがあります。

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- ・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- ・不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) へお問い合わせください。

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。
詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。
N-05XD は MQA に対応しており、MQA オーディオ・ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。

「MQA」または「MQA.」の表示は、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードし、再生していることを示し、音声が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。「MQA.」は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 **電源プラグをコンセントから抜く**	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (41 ページ) に修理をご依頼ください。
 **禁止**	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (41 ページ) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。
 **指示**	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 **禁止**	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために (続き)

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (41 ページ) にご依頼ください。	
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。	

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。	
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。	
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する**	
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。	
	この機器は約 13.8 kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。	
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。	
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。	
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。	
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。	


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (41 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告	**乾電池に関する警告**
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

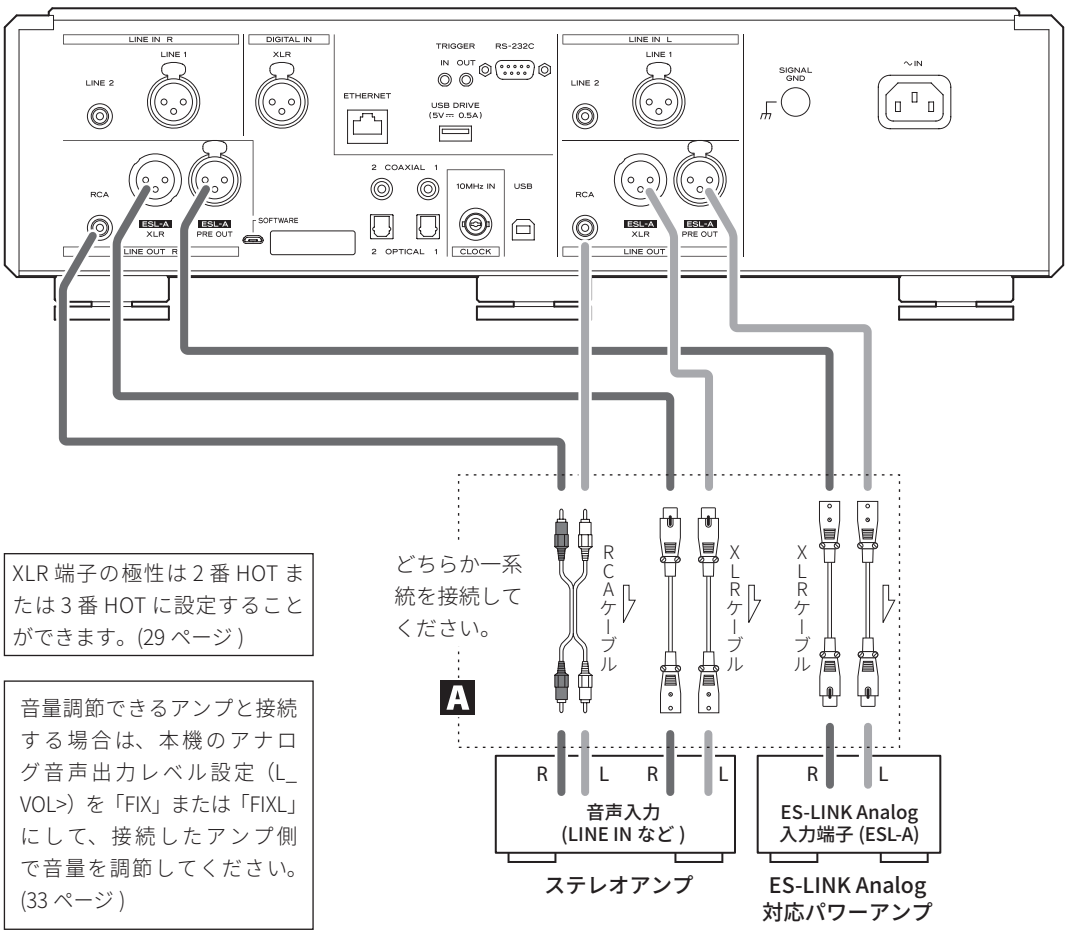
警告	**電池に関する警告**
強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

注意	**電池に関する注意**
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

アンプとの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



XLR 端子の極性は 2 番 HOT または 3 番 HOT に設定することができます。(29 ページ)

音量調節できるアンプと接続する場合は、本機のアナログ音声出力レベル設定（L_VOL>）を「FIX」または「FIXL」にして、接続したアンプ側で音量を調節してください。(33 ページ)

A アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

ESL-A/XLR、ESL-A PRE OUT : XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

本機の R 端子とアンプの R 端子、本機の L 端子とアンプの L 端子をそれぞれ接続してください。

接続した端子に合わせて、アナログ音声出力設定 (29 ページ) とアナログ音声出力レベル設定 (33 ページ) を行ってください。

- アナログ音声出力設定は、XLR(極性は 2 番 HOT または 3 番 HOT)、RCA および ESLA から選択できます。(29 ページ)
- 本機と ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプを接続する場合は、本機のアナログ音声出力端子 (ESL-A) とアンプの ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) を接続することを推奨します。(11 ページ)

注意

本機の ESL-A PRE OUT 出力端子は、XLR 出力端子との誤配線を防ぐためにメス型コネクターになっています。

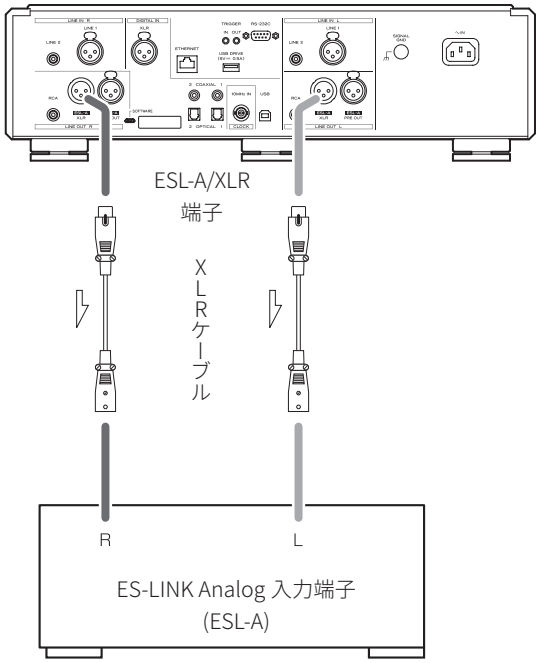
ES-LINK Analog で接続する

ES-LINK Analog について

エソテリック独自の伝送方式である「ES-LINK Analog」は、ハイスピードで強力な電流供給能力を誇る HCLD バッファー回路の性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能です。

- 接続ケーブルは一般的なバランスケーブル (端子形状 :XLR) ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用になれません。

インテグレーテッドアンプと ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 対応インテグレーテッドアンプ

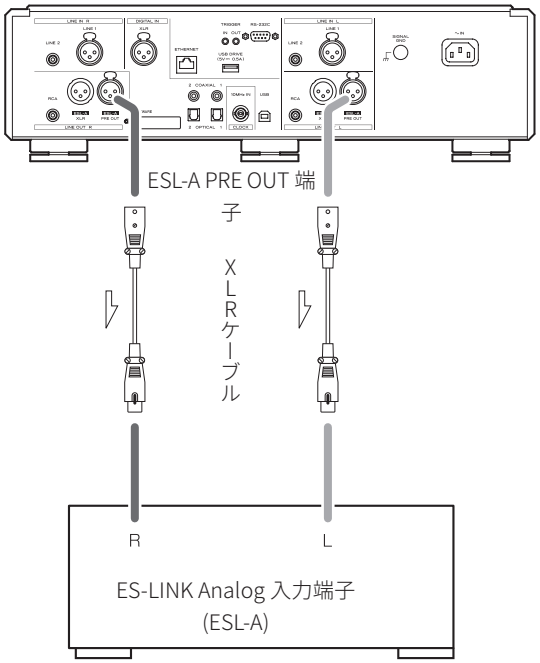
本機のアナログ音声出力端子 (ESL-A/XLR) とインテグレーテッドアンプの ES-LINK Analog 入力端子 (ESL-A) を XLR ケーブルで接続します。

- 本機のアナログ音声出力設定 (LOUT>) を「ESLA」にしてください。(29 ページ)
- インテグレーテッドアンプの入力切換を「ESLA」に設定してください。
- 本機のアナログ音声出力レベル設定（L_VOL>）を「FIX」または「FIXL」にして、インテグレーテッドアンプで音量を調節してください。

メモ

XLR や RCA でも接続することができます。お好みの音質の接続を選んでご使用ください。

パワーアンプと ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 対応パワーアンプ

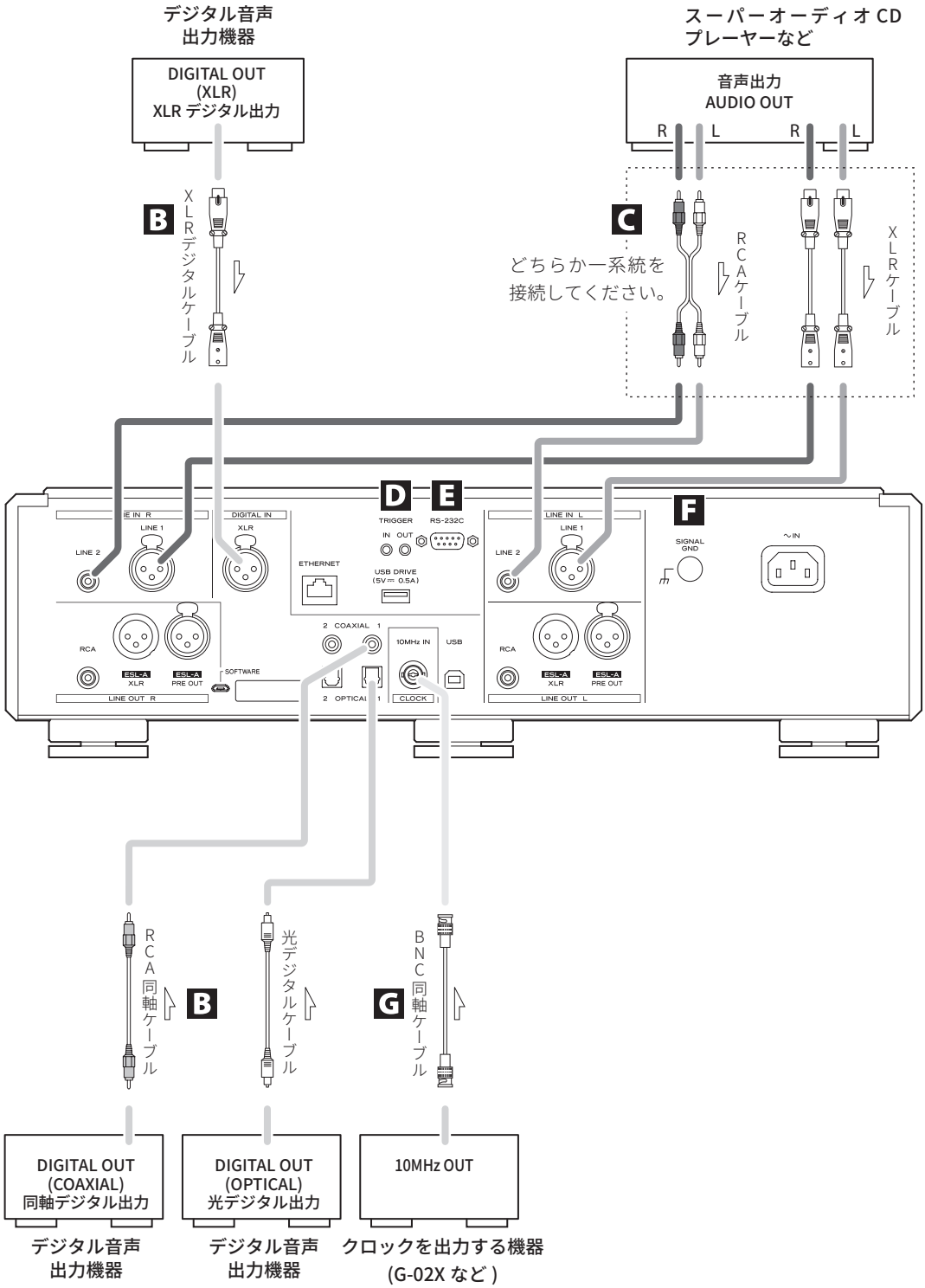
本機のアナログ音声出力端子 (ESL-A PRE OUT) とパワーアンプの ES-LINK Analog 入力端子 (ESL-A) を XLR ケーブルで接続します。

- パワーアンプの入力切換を ESL-A に設定してください。
- 音量は、本機の音量つまみ (VOLUME) で調節します。
- 本機のアナログ音声出力レベル設定（L_VOL>）を「ON」にしてください。(33 ページ)

注意

本機の ESL-A PRE OUT 出力端子は、XLR 出力端子との誤配線を防ぐためにメス型コネクターになっています。

ソース機器との接続


デジタル音声
出力機器
DIGITAL OUT
(XLR)
XLR デジタル出力
B
XLRデジタルケーブル
スーパーオーディオ CD
プレーヤーなど
音声出力
AUDIO OUT
R
L
R
L
C
どちらか一系統を
接続してください。
RCAケーブル
XLRケーブル
D
E
F
TRIGGER
RS-232C
IN OUT
LINE 1
LINE 2
XLR
DIGITAL IN
ETHERNET
USB DRIVE
(5V⎓ 0.5A)
RCA
2 COAXIAL 1
10MHz IN
USB
SOFTWARE
2 OPTICAL 1
CLOCK
LINE OUT R
LINE OUT L
SIGNAL
GND
~IN
RCA同軸ケーブル
光デジタルケーブル
BNC同軸ケーブル
G
DIGITAL OUT
(COAXIAL)
同軸デジタル出力
DIGITAL OUT
(OPTICAL)
光デジタル出力
10MHz OUT
デジタル音声
出力機器
デジタル音声
出力機器
クロックを出力する機器
(G-02X など)

B デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN)

デジタル音声を入力します。
デジタル音声出力機器のデジタル音声出力端子と接続してください。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLR デジタルケーブル
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)

- 32kHz ～ 192kHz、16bit、24bit の信号が受信できます。

C アナログ音声入力端子 (LINE IN)

スーパーオーディオ CD プレーヤー、DVD プレーヤー、カセットデッキ、チューナーなどのアナログ音声出力端子と接続してください。
本機の R 端子と出力機器の R 端子、本機の L 端子と出力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

D トリガー端子 (TRIGGER)

電源をコントロールするための端子です。
この端子を使わないときは何も接続しないでください。

E リモコン入力端子 (RS-232C)

専門業者 (カスタムインストーラー) 用のコントロール端子です。

F アース端子 (SIGNAL GND)

アンプなど、本機と接続する機器とアース接続をすると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

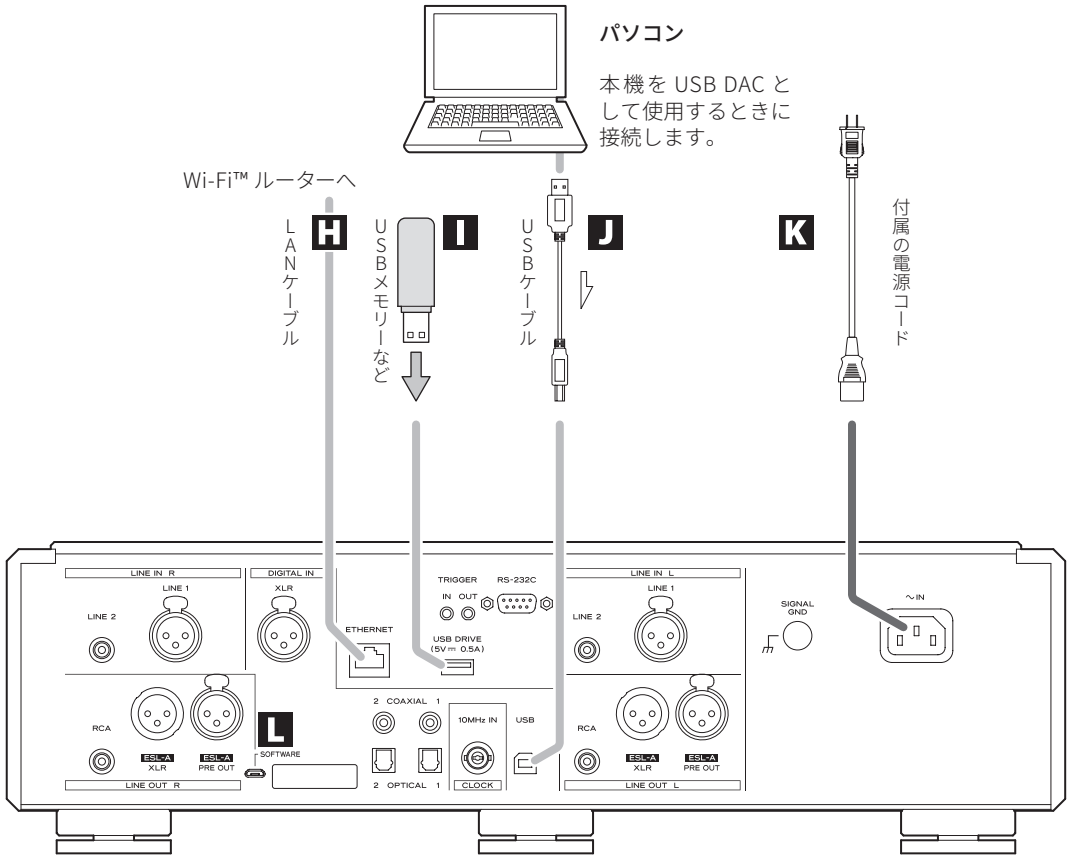
G クロック入力端子 (CLOCK)

クロック入力端子 (10MHz IN) に 10MHz の同期信号 (クロック) を入力します。
クロック同期させる場合は、クロックを出力する機器のクロック出力端子と本機のクロック入力端子 (10MHz IN) を接続して、クロック設定 (CLK>) を「IN」に設定してください。(28 ページ)

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

- BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50 Ωまたは 75 Ω のものがお使いいただけます。

ネットワークと USB の接続



H ETHERNET 端子

LAN ケーブルを使って、ネットワークに接続してください。

接続には市販の LAN ケーブルをお使いください。

I USB ドライブ端子 (USB DRIVE)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーなどを接続してください。

- この端子は、接続した USB メモリーなどに保存された音楽ファイルを再生するために使用します。
- USB ドライブ端子に接続した USB メモリーなどの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NET にして、アプリを使って再生してください。(22 ページ)

J USB 端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。

接続には市販の USB ケーブルをお使いください。

- 接続の前に 23 ～ 24 ページの注意をよくお読みください。

K AC インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

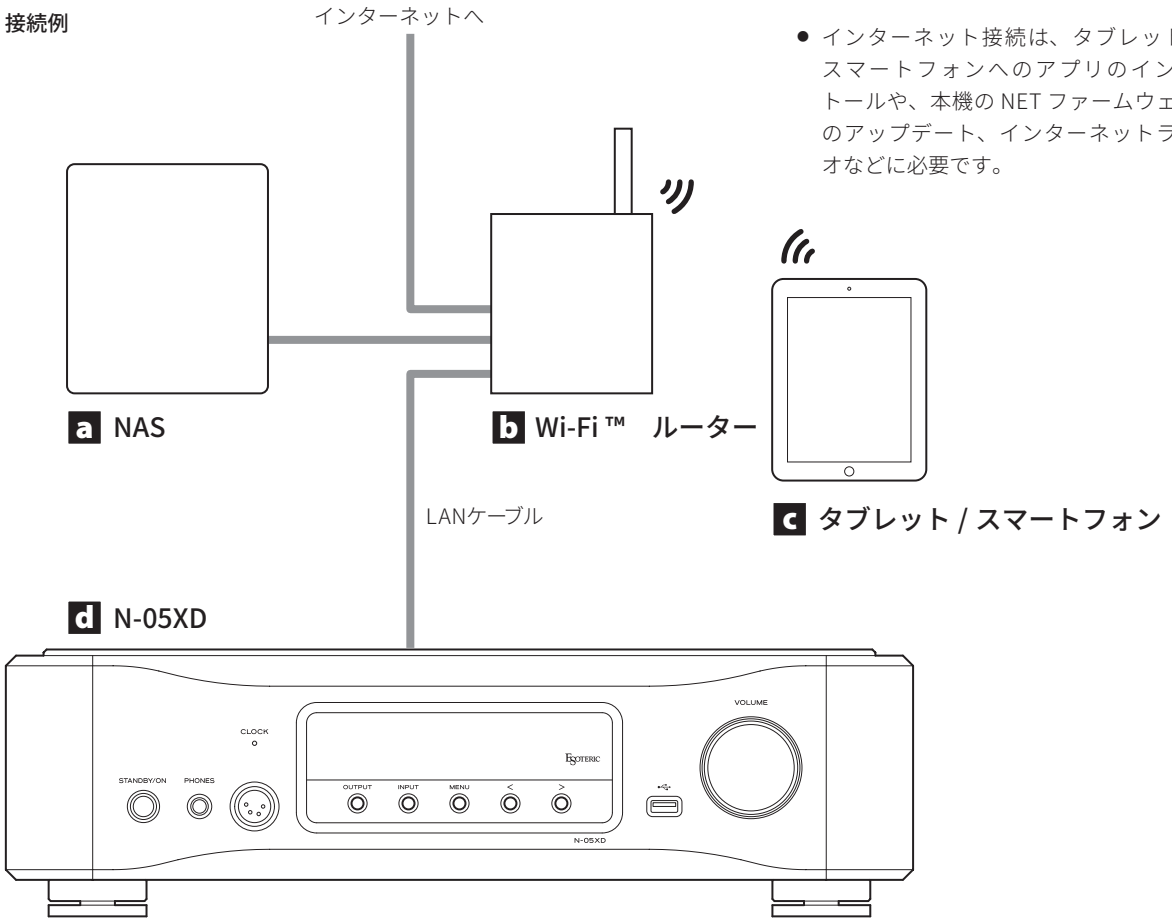
- 本機の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

L メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

接続例



- インターネット接続は、タブレット / スマートフォンへのアプリのインストールや、本機の NET ファームウェアのアップデート、インターネットラジオなどに必要です。

a NAS(ネットワークアタッチトストレージ)

音楽ファイルを保存します。
メディアサーバーとして UPnP サーバーが動作している必要があります。

NAS の代わりに USB メモリーなどの USB ストレージに音楽ファイルを入れて、USB ドライブ端子に接続し、N-05XD のメディアサーバー機能を使用してファイル再生を楽しむこともできます。(22 ページ)

b Wi-Fi ™　ルーター

タブレット / スマートフォンを Wi-Fi 経由で本機と NAS に接続します。

c タブレット / スマートフォン

アプリをインストールして、本機をコントロールします。

d N-05XD

本機

注意

出荷時の ETHERNET 端子の LED 設定 (LanLED>) は「OFF」に設定されています。(31 ページ)

ヘッドホンの接続

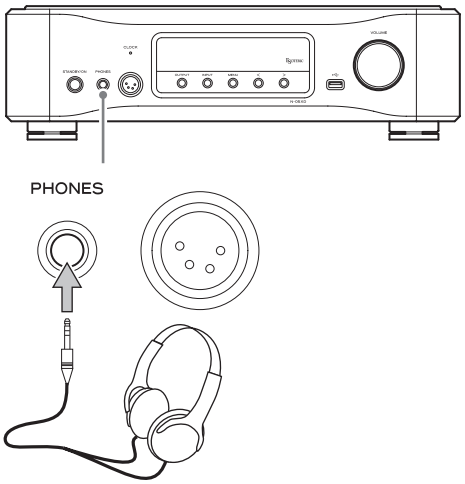
⚠ 注意

ヘッドホンを耳に着けたまま、電源のスタンバイ / オンや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

必ず音量を最小 (音量表示が「STEP (0-100)」のとき 0、「dB」のとき –∞ dB) の位置まで下げてからヘッドホンを装着してください。(21 ページ)

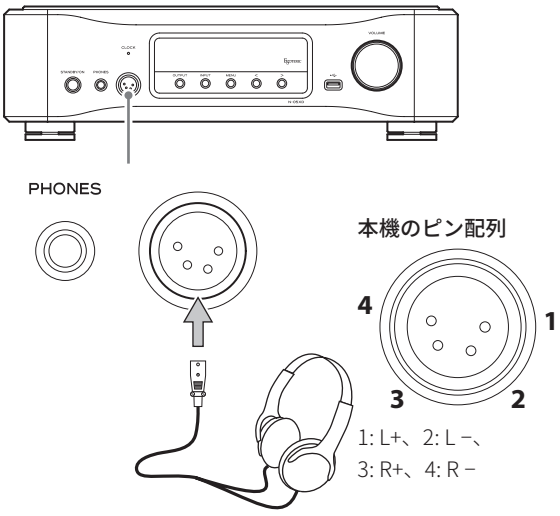
アンバランス駆動タイプ (UNBAL、一般的なヘッドホン)

6.3mm ステレオ標準プラグのヘッドホンを接続します。



バランス駆動タイプ (BAL)

4 ピン XLR プラグのヘッドホンを接続します。



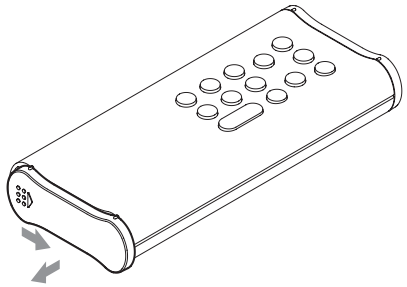
リモコンについて

リモコン使用上の注意

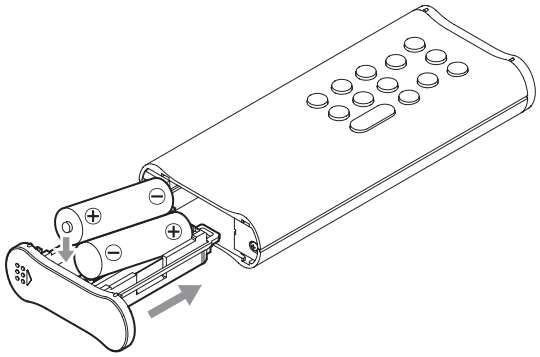
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

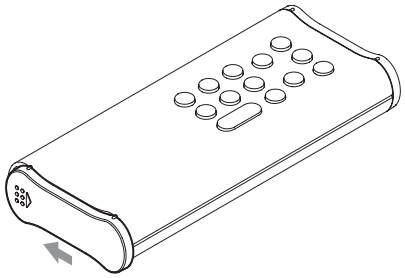
1 リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを引き出す。



2 ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単 3 形) 2 本を入れて電池ケースを戻す。



3 リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを取り付ける。



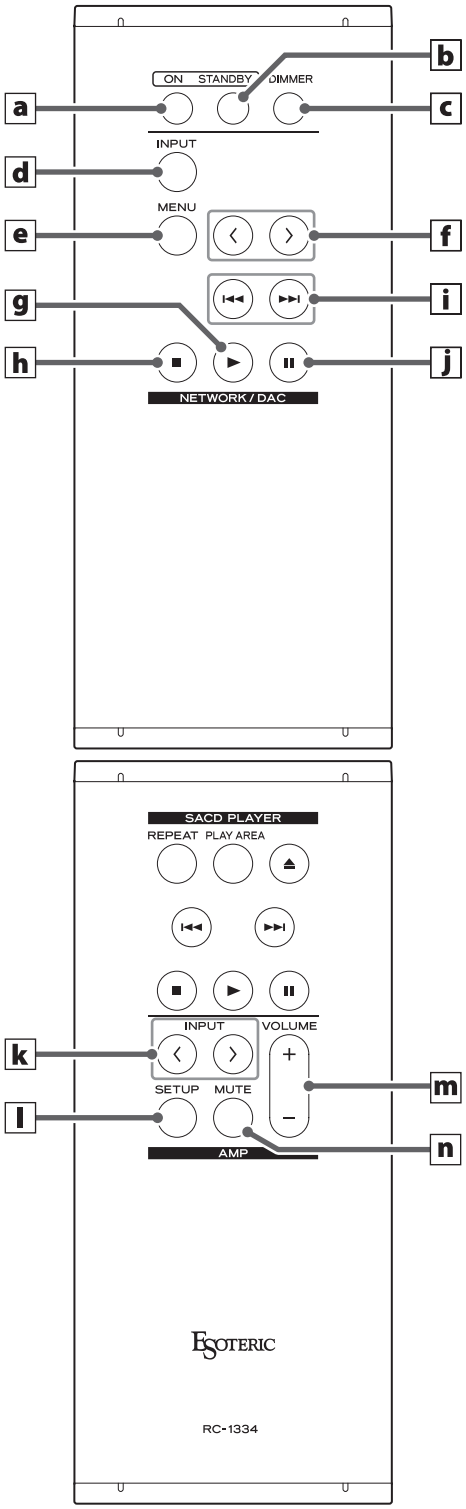
電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
9 ページの注意をよく読んでご使用ください。

各部の名称 (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a オンボタン (ON)

電源をオンにします。

b スタンバイボタン (STANDBY)

電源をスタンバイにします。

c ディマーボタン (DIMMER)

ディスプレーの明るさを調節します。(19 ページ)

d 入力切換ボタン (INPUT)

入力ソースを切り換えます。入力ソースがデジタル入力の場合で、デジタル信号が入力されていないときは、入力ソース名が点滅します。

- 設定表示中に押すと、設定を終了して通常表示に戻ります。(27 ページ)

e メニューボタン (MENU)

設定モードになります。(27 ページ)

f 選択項目変更ボタン (〈 / 〉)

設定モード時のパラメーター変更に使用します。
Bluetooth 機器とのペアリング操作の際にも使用します。(26 ページ)

入力ソースが NET または Bluetooth のときに以下のボタンが使用できます。

g 再生ボタン (►)

再生します。

h 停止ボタン (■)

再生を停止します。

i スキップボタン (I◄◄ / ►►I)

前または後ろの曲にスキップします。

j 一時停止ボタン (II)

再生を一時停止します。

注意

Bluetooth 入力時の再生 / 停止 / スキップ / 一時停止ボタンは、Bluetooth ソース機器のアプリによっては、対応していない場合もあります。

リモコンの AMP ボタン設定（AMPRM>）が「ON」のとき、k ～ n のボタンが有効になります。(34 ページ)

- エソテリックのインテグレーテッドアンプまたはプリアンプをお使いの場合は、リモコンの AMP ボタン設定（AMPRM>）を OFF にしてください。(34 ページ)

k 入力切換ボタン (INPUT 〈 / 〉)

入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。
L/R バランス調整 (BAL>) と入力ゲイン調整 (LVL>) の設定を変更するときに使用します。(28 ページ)

l セットアップボタン (SETUP)

L/R バランス調整 (BAL>) と入力ゲイン調整 (LVL>) の設定を変更するときに使用します。(28 ページ)

m 音量ボタン (VOLUME ＋ / －)

音量を調節します。＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。

- ディスプレーに「THRU」と表示されているとき、本機で音量を調節することはできません。(33 ページ)

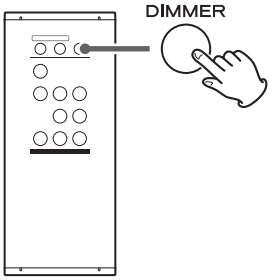
n ミュートボタン (MUTE)

一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

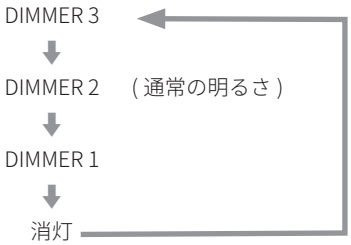
- ミュート時は、画面に「MUTE」が点滅表示します。

- 記号の指示のないボタンは本機では使用しません。
- このリモコンで他のエソテリック製品も操作することができます。

ディマー

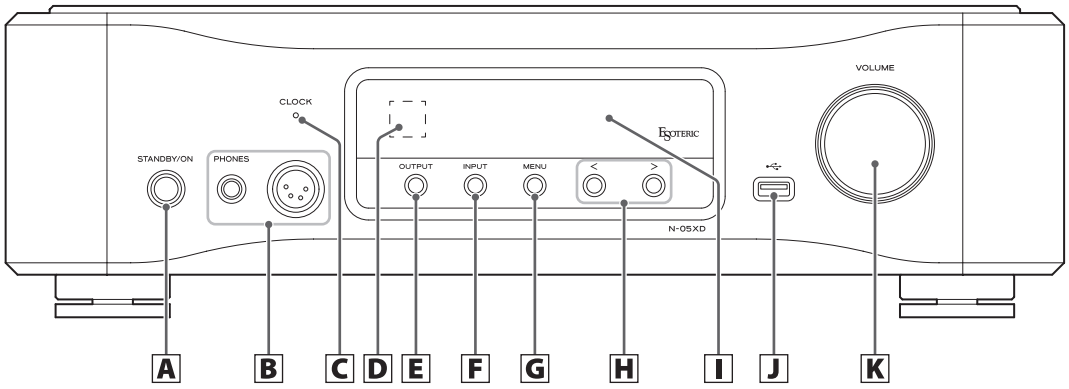


本体のディスプレーの明るさを調節できます。



- 消灯中に再生ボタン (►) などを押すと、約 3 秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。
- DIMMER 1 または消灯が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常の明るさ (DIMMER 2) で表示されます。
- 長押しすると、DIMMER 2 (通常の明るさ) に設定されます。

各部の名称 (本体)



A 電源ボタン (STANDBY/ON)

電源のスタンバイとオンを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が点灯します。
電源がスタンバイのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をスタンバイにしてください。

B ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンプラグ (6.3mm ステレオ標準プラグまたは 4 ピン XLR プラグ) を接続します。(16 ページ)

C クロックインジケーター (CLOCK)

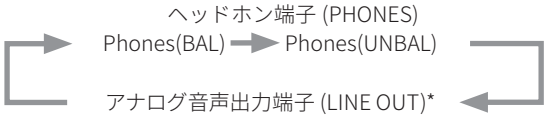
クロック同期の状態を表示します。
クロック同期中にインジケーターが点滅し、同期すると点灯に変わります。
入力ソースが USB と NET で、内部クロックで動作しているときは、緑色に点灯します。

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

E 出力切換ボタン (OUTPUT)

押すごとにアナログ音声を出力する端子が切り換わります。



* アナログ音声出力設定 (LOUT>) で設定した端子

F 入力切換ボタン (INPUT)

入力ソースを切り換えます。入力ソースがデジタル入力の場合で、デジタル信号が入力されていないときは、入力ソース名が点滅します。

G メニューボタン (MENU)

設定モードになります。

H 選択項目変更ボタン (< / >)

設定モード時のパラメーター変更に使用します。
入力ソースが NET と Bluetooth のときは、再生や選曲をすることができます。

- Bluetooth 機器とのペアリング操作の際にも使用します。(26 ページ)
- 入力ソースが NET または Bluetooth のときに「>」ボタンを押すと再生、もう一度押すと次の曲にスキップします。再生中に「<」ボタンを押すと前の曲にスキップし、長押しすると停止します。

I ディスプレー

音量や入力ソースのサンプリング周波数などの各種情報を表示します。

J USB ドライブ端子 ( )

音楽ファイルが保存されている USB メモリーなどを接続してください。

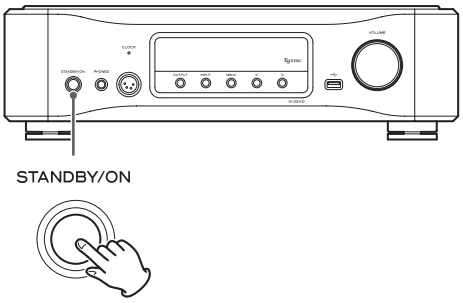
- この端子は、接続した USB メモリーなどに保存された音楽ファイルを再生するために使用します。
- USB ドライブ端子に接続した USB メモリーなどの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NET にして、アプリを使って再生してください。(22 ページ)

K 音量つまみ (VOLUME)

音量を調節します。
音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

基本操作

1 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して本機の電源をオンにする。

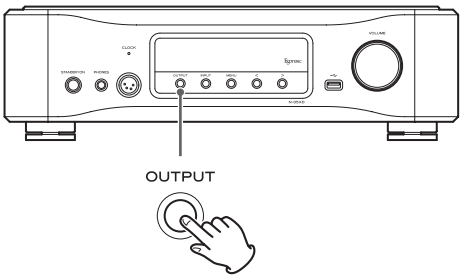


- アンプを接続した場合は、アンプの電源を必ず一番最後にオンにしてください。

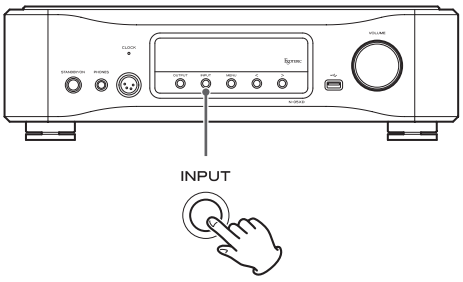
2 音量を最小にする。

音量を調節する機器 (本機または本機に接続したアンプなど) の音量を最小にしてください。

3 出力切換ボタン (OUTPUT) を押して、アナログ音声を出力する端子を選択する。



4 入力切換ボタン (INPUT) を押して、入力ソースを選ぶ。



選択したソースがディスプレーに表示されます。

- 入力信号がデジタル音声信号ではないときや、Dolby Digital、DTS など本機が対応していない音声信号フォーマットのときは音声が出力されません。接続している機器のデジタル出力は PCM 音声出力に設定してください。
- USB を選択してパソコンの音楽ファイルを再生するときは、接続する前に専用ドライバーをパソコンにインストールしてください。(23 ページ)
- DSD データは、入力ソースが USB、NET(USB メモリーなどを含む) のとき、または DoP フォーマットのデジタル信号のとき再生できます。
- NET、USB ドライブ端子 (フロント、リア) を使用する場合は、ESOTERIC Sound Stream(無償) をインストールしたスマートホンやタブレットを用意して、同一ネットワークに接続してください。
- Bluetooth 機器を使用する場合は、25 ページの「Bluetooth® 機能を使用する」を参照して、ペアリングをしてください。

5 再生する機器を操作する。

入力ソースが NET のときは、ESOTERIC Sound Stream をインストールしたスマートホンやタブレットを操作します。
入力ソースが USB のときは、本機に接続したパソコンにインストールした音楽再生ソフト (ESOTERIC HR Audio Player など) を操作します。(24 ページ)
その他の入力ソースのときは、接続した各機器の取扱説明書をご覧ください。

- 入力ソースが NET 以外のとき、ESOTERIC Sound Stream で再生操作を行うと、入力ソースを自動的に NET に切り換えて再生を開始します。

6 音量を調節する。

ライン出力を使用している場合
アナログ音声出力レベル設定 (L_VOL>)(33 ページ) を「ON」に設定した場合は、本機の音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節してください。
「FIX」または「FIXL」に設定した場合は、本機では音量調節ができないので、本機に接続したステレオアンプなどで、音量を調節してください。

本機にヘッドホンを接続して使用する場合
本機の音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節してください。

- 本機の音量つまみ (VOLUME) が有効のときは、音量が表示されます。

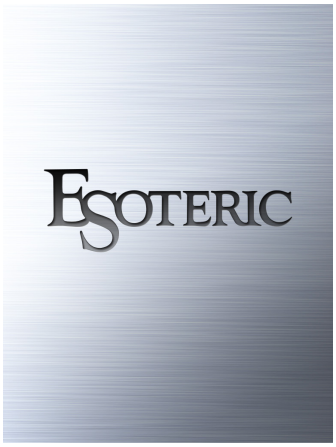
メモ

- オート・パワー・セーブ設定 (APS>) は、出荷時「OFF」に設定されています。(30 ページ)
- ディスプレー自動消灯設定 (DPaOFF>) が「ON」のとき、10 分間操作しないと表示が消えます。(29 ページ)

ネットワークプレーヤー機能を使用する

本機のネットワークプレーヤー機能は、OpenHome、Roon Ready、Spotify Connect、Tidal Connect などに対応しています。それぞれのサービスに対応したアプリを使うことで、楽曲の再生を行うことができます。

- iOS、Android に対応した OpenHome コントロールアプリ「ESOTERIC Sound Stream」をご利用いただけます。App Store または Google Play ストアにて「ESOTERIC Sound Stream」で検索してください。



- ESOTERIC Sound Stream 取扱説明書 (**https://www.esoteric.jp/jp/product/sound_stream/download**) をご覧になり、プレイリストを作成して再生してください。
- ETHERNET 端子、USB ドライブ端子 (⇳、USB DRIVE)、を使用する場合は、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。
- ネットワークモジュールのファームウェアは ESOTERIC Sound Stream を介して更新されます。定期的に ESOTERIC Sound Stream で本機を選択し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。
  ファームウェアに更新があった場合、自動的に更新を促すポップアップが表示されます。

OpenHome http://openhome.org/

本機の中にプレイリストデータを持ち、NAS や本機に接続された USB メモリーに格納された楽曲を OpenHome 対応のコントロールアプリ（ESOTERIC Sound Stream など）を使用し、プレイリストに登録することで、楽曲を再生することができます。 ESOTERIC Sound Stream を使用すると、Tidal や Qobuz などのストリーミングサービスからもお好みの楽曲をプレイリストに登録することができます。OpenHome では、プレイリストが再生デバイス側に格納されているため、プレイリストへの楽曲の登録後は、コントロールアプリを終了させてもプレイリストの曲順通りの再生が可能です。

Roon Ready https://roonlabs.com/

本機は Roon Labs からリリースされている音楽再生・管理ソフト Roon での楽曲再生に対応しています。 Roon システムは 3 つの要素「Control（操作部）」、「Core（中核部）」、「Output（出力部）」から構成されています。 本機は、Roon 独自の高音質オーディオ伝送フォーマット RAAT（Roon Advanced Audio Transport）に対応したオーディオ出力部の役割を担います。
また本機では、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うため RAAT モードを選択できます。 通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など）を停止させ、Roon での楽曲再生に特化したモードです。

- RAAT モードの設定方法は、32 ページを参照ください。
- RAAT モード時は、Roon アプリからのみコントロールが可能となります。

Spotify Connect https://www.spotify.com/
Tidal Connect https://tidal.com/

ストリーミング音楽サービス Spotify や Tidal の専用アプリから本機を出力先として選択することができます。 楽曲選択などの操作は、それぞれのサービスに最適化された専用アプリから行うことができ、スマートフォンなどを使って手軽に本機を使った楽曲再生が可能です。
※ 詳しい操作方法は、それぞれのサービスのアプリを参照してください。

USB DAC 機能を使用する

対応 OS

USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかです。
下記以外の OS での動作保証はいたしません。
(2025 年 1 月現在)

Mac の場合

macOS Sierra(10.12) 以降

Windows の場合

Windows 10 (32bit/64bit) 以降

ドライバーのインストール

Mac の場合

OS 標準のドライバーで動作するので、専用ドライバーのインストールは必要ありません。
ただし、Bulk Pet を使用する場合は、専用ドライバーをインストールする必要があります。

Windows の場合

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、専用ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。

ご注意

パソコンと USB 接続する前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。

パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

専用ドライバーをパソコンにインストールする

下記 URL より専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
インストール手順と OS の設定方法は、ドライバーに添付されている ESOTERIC ASIO USB DRIVER インストールマニュアルを参照してください。

https://www.esoteric.jp/jp/product/n-05xd/download

転送モードについて

本機は、Isochronous または Bulk Pet で接続します。
伝送可能サンプリング周波数は 44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384kHz です。DSD の場合は、2.8/5.6/11.2/22.5MHz です。

- DSD 22.5MHz は、DSD Native 再生にのみ対応しており、DoP（DSD Audio over PCM Frames）再生には対応していません。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「ESOTERIC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。
本機のデータ転送では、パソコンから送出されたオーディオのデータを本機側のクロックを使って処理するので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード

パソコンを使った音楽ファイルの再生には、ESOTERIC HR Audio Player をご利用いただけます。
下記 URL からダウンロードしてご利用ください（無償）。

https://www.esoteric.jp/jp/product/hr_audio_player

ESOTERIC HR Audio Player は、Windows および Mac 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

ESOTERIC HR Audio Player の設定について

ESOTERIC HR Audio Player で、DSD 22.5MHz を再生する場合、[Configure] ウインドウの [Decode mode] の項目で、[DSD Native] を選択してください。

DSD 22.5MHz を再生しない場合は、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

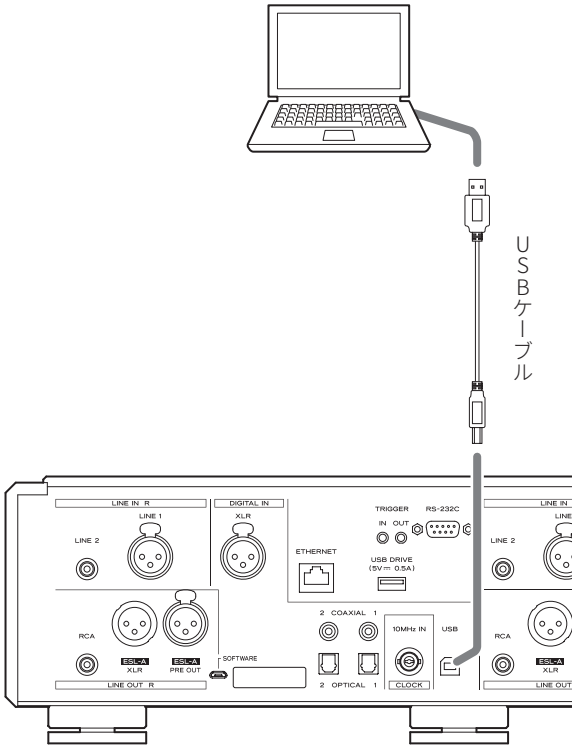
詳しくは、ESOTERIC HR Audio Player 取扱説明書の「DSD 再生方式の選択」をご覧ください。

USB DAC 機能を使用する（続き）

音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

USB ケーブルは市販の本機の接続端子に合うものをご使用ください。



2 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して本機の電源をオンにする。

STANDBY/ON



4 入力切換ボタン (INPUT) をくり返し押して「USB」を選ぶ。

INPUT



5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調節は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調節するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調節してください。
本機にヘッドホンやパワーアンプを接続して使用する場合は、本機で音量を調節します。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機から USB 経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - ・USB ケーブルを抜く
  - ・本機の電源をスタンバイにする
  - ・入力を切り換える
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

Bluetooth® 機能を使用する

Bluetooth® 無線通信について

携帯電話等 Bluetooth 機器と本機の距離は約 10m 以内で使用してください。
ただし使用状況によっては通信有効範囲が短くなることがあります。
すべての Bluetooth 機能対応製品との無線通信を保証するものではありません。
本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

プロファイル

本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

Bluetooth 無線通信で音声伝送を行うには、Bluetooth 機器が A2DP に対応している必要があります。
Bluetooth 機器の再生を制御するには、Bluetooth 機器が AVRCP に対応している必要があります。
ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により、機能が異なる場合があります。

コーデック

本機は、以下のコーデックに対応しており、音声伝送時にいずれかのコーデックを自動選択します。

- LDAC
- LHDC
- Qualcomm®aptX ™ HD audio
- Qualcomm®aptX ™ audio
- AAC
- SBC

使用するコーデックは、Bluetooth 機器のコーデック対応や通信状況に応じて適切に選択します。

LDAC は、ソニーが開発したハイレゾ音源を Bluetooth 経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。
SBC 等の既存 Bluetooth 向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します *1。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約 3 倍 *2 のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質の Bluetooth 無線伝送を実現しています。

*1：DSD フォーマットは除く。
*2：990kbps（96/48kHz）または 909kbps（88.2/44.1kHz）のビットレートを選択した場合の SBC (Subband Coding) との比較。

メモ

- 使用するコーデックは、ボタン操作などで選択することはできません。
- Bluetooth 無線技術の特性により、Bluetooth 機器の再生に比べて本機側での再生がわずかに遅れます。

コンテンツ保護

本機は、音声伝送時のコンテンツ保護として SCMS-T に対応しており、保護された音声を再生できます。

通信セキュリティ

本機は、Bluetooth 無線通信で Bluetooth の標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、通信の秘匿性を保障するものではありません。
Bluetooth 無線通信で情報の漏洩が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねます。

Bluetooth® 機能を使用する (続き)

Bluetooth 機器とペアリングする

本機を初めて使用する場合、または別の Bluetooth 機器を初めて本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

1 入力切換ボタン (INPUT) を押して Bluetooth を選択する。

2 Bluetooth 機器を Bluetooth 通信状態に設定する。

3 選択項目変更ボタン (〉) を長押ししてペアリングモードにする。

ペアリング中はディスプレーに「Pairing」と表示されます。

4 Bluetooth 機器から、本機「N-05XD」を選択し接続する。

本機をペアリング状態にしてから Bluetooth 機器側のペアリングを行ってください。
詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

接続すると、接続した機器名を表示します。

メモ

選択項目変更ボタン (〈) ボタンを押すとペアリングを中止します。

Bluetooth 機器を再生する

- 本機を初めて使用する場合、または別の Bluetooth 機器を初めて本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。
- Bluetooth 機器とのペアリングや接続は、数 m の範囲内で行ってください。距離が離れすぎた場合、ペアリングやその後の接続ができなくなる場合があります。

1 入力切換ボタン (INPUT) を押して Bluetooth を選択する。

2 Bluetooth 機器を Bluetooth 通信状態に設定する。

接続したい Bluetooth 機器を操作して、本機と接続してください。

注意

接続がうまくいかない場合は、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

メモ

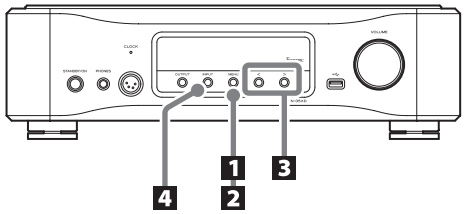
Bluetooth モジュール常時動作設定 (BTstby>) が「ON」の場合、入力を Bluetooth に切り換えなくても、接続ができます。接続した Bluetooth 機器で再生すると、入力を自動的に Bluetooth に切り換えます。

3 Bluetooth 機器を再生する。

- Bluetooth 機器の音量が上がっていることを確認してください。再生側の音量を上げないと本機から音が聞こえない場合があります。

設定モード

本機の設定は、設定 1、設定 2、設定 3 の 3 つのグループに分かれています。
メニューボタン (MENU) の押し方によって設定 1、設定 2、設定 3 と通常表示を切り換えます。



設定のしかた

1 メニューボタン (MENU) を押す。



設定 1 が表示されます。

設定 2 を表示するには、メニューボタン (MENU) を長押ししてください。

設定 3 を表示するには、設定 2 の gotoMENU3 表示中に選択項目変更ボタン (>) を長押ししてください。

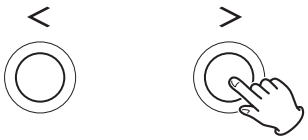
2 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

メニューボタン (MENU) を押すたびに、ディスプレーの表示が変わります。

設定 1	設定 2	設定 3
BAL>	PCMF>	L_VOL>
LVL>	PCM ΔΣ >	THRU>
CLK>	DSDF>	MTLV>
VOLDP>	LanLED>	AMPRM>
HPmax>	NETin>	RS232C>
LOUT>	BTstby>	TRIG_O>
DPaOFF>	F/W ver.	TRGst>
APS>	gotoMENU3	

- 10 秒以上放置すると、設定モードが解除されて通常の表示に戻ります。
- 選択しているソースや操作している状態により表示されない項目があります。

3 選択項目変更ボタン (< / >) を使って、設定を変更する。



複数の項目を変更する場合は、手順 2 と 3 をくり返してください。

- F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン (>) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。FPGA のバージョン表示中に選択項目変更ボタン (>) を押すと、F/W ver. 表示に戻ります。

4 入力切換ボタン (INPUT) を押して、設定を終了する。



または、10 秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は電源プラグを抜いても保持されます。

リモコンの AMP ボタン設定 (AMPRM>) が ON のとき

L/R バランス調整 (BAL>) と入力ゲイン調整 (LVL>) は設定 1 に表示されません。以下の手順で設定を変更してください。

1 リモコンのセットアップボタン (SETUP) を押して、変更する設定項目を表示させる。

セットアップボタン (SETUP) を押す毎に、BAL> と LVL> の表示が切り換わります。

2 リモコンの AMP の入力切換ボタン (INPUT < / >) を押して、設定を変更する。

3 リモコンのセットアップボタン (SETUP) を通常の表示に戻るまで押して設定を終了する。

- 本体の入力切換ボタン (INPUT) を押しても設定を終了します。

設定 1

L/R バランス調整

BAL> ＊＊＊

左右の音量バランスを調整します。
L6.0 (dB) ～ R6.0 (dB) の範囲で 0.5dB 刻みで設定できます。
また、片側のチャンネルをミュートする設定も可能です。

- 出荷時は「0.0」(バランス調整なし) に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- リモコンの AMP ボタン設定 (AMPRM>) が「ON」のときは、MENU1 に本設定（BAL>）は表示されません。リモコンを使って設定します。(27 ページ)

片側チャンネルをミュートする

「>」ボタンを押して表示を「BAL>R-only」にすると、R チャンネルのみに出力します。
同様に、「<」ボタンを押して「BAL>L-only」にすると、L チャンネルのみに出力します。

入力ゲイン調整

LVL> ＊＊＊

選択されている入力端子の入力ゲインを調整します。
– 18.0 (dB) ～ +18.0 (dB) の範囲で 0.5dB 刻みで設定できます。

- 出荷時は「0.0」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- リモコンの AMP ボタン設定 (AMPRM>) が「ON」のときは、MENU1 に本設定（LVL>）は表示されません。リモコンを使って設定します。(27 ページ)

設定と音質について

BAL (左右バランス)、LVL (入力ゲイン調整) は、いずれも音量に関わる設定項目です。これらの設定と音量 (VOLUME) の設定値は、総合的にマイコンで判断され、一ヵ所のボリュームコントロールアンプで一括制御されています。
そのため、音声信号がいくつかの回路を通過してしまう一般的なアンプと異なり、設定による音質劣化はありませんのでご安心ください。

クロック設定

CLK> ＊＊＊

外部クロックによる同期設定を行います。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- NET、USB 入力以外で、クロック同期機能のないソース機器と接続するときは、「OFF」を設定してください。
- 入力ソースが Bluetooth、LINE1、LINE2 のときは、表示されません。

OFF

クロック同期を行いません。入力デジタル信号のクロックで動作します。
NET、USB 入力時は内蔵発振器を使用し、クロックインジケーター (CLOCK) が緑色に点灯します。

IN

本機のクロック入力端子 (10MHz IN) にクロックジェネレーターから 10MHz のクロックを入力し、本機を同期させるモードです。

クロックインジケーター (CLOCK) が点灯します。同期中または同期できない状態の場合は、クロックインジケーター (CLOCK) が点滅します。

- 入力可能なクロックの周波数は、10MHz です。入力音声信号と入力クロック信号は同期している必要があります。
- 音楽再生中にクロックジェネレーターの電源をオフにしたり、10MHz クロックを供給している BNC 同軸ケーブルの接続をはずして、クロックの供給を止めると、スピーカーから大きなノイズが発生することがありますのでご注意ください。

音量表示設定

VOLDP> ＊＊＊

ディスプレーに表示する音量の単位を設定します。

STEP

単位をステップで表示します。
0 ～ 100 までを 0.5 刻みで調節します。

dB1

単位を dB で表示します。
–∞、– 95.0 ～ +24.0dB までを 0.5dB 刻みで調節します。

dB2

単位を dB で表示します。
–∞、– 95.0 ～ 0.0dB までを 0.5dB 刻みで調節します。

ヘッドホン最大音量設定

HPmax> ＊＊＊

ヘッドホン出力の最大音量を設定します。
音量表示設定（VOLDP）で設定されている表示単位でそれぞれ下記の範囲で最大値が設定できます。

STEP 表示時：36.0 ～ 100
dB1 表示時：– 40.0 ～ +24.0
dB2 表示時：– 64.0 ～ 0.0

- 出荷時は、最大値に設定されています。
  STEP：100
  dB1：+24.0
  dB2：0.0
- 設定値は、通常のメニュー操作の く、〉ボタンに加えて、音量つまみ (VOLUME)、リモコンの音量ボタン (VOLUME ＋ / －) でも変更できます。
- 本体の音量つまみ (VOLUME)、リモコン、ネットワークアプリなどを操作して、本体の音量表示は、HPmax で設定した値以上に設定することができますが、ヘッドホン出力の音量は、HPmax で設定した音量以上には上がりません。
- 音量が HPmax で設定した値以上になっている場合は、ディスプレーの出力表示（Phones/Phones BAL）が点滅します。

アナログ音声出力設定

LOUT> ＊＊＊

使用するアナログ音声出力 (LINE OUT) を設定します。

- 出荷時は「XLR2」に設定されています。

ESLA

XLR 端子から ES-LINK Analog (ESL-A) でアナログ音声信号を出力します。

- 接続には一般的な XLR ケーブルを使用しますが、独自伝送方式のため、接続は対応する機器のみとなります。
- ES-LINK Analog (ESL-A) については 11 ページを参照下さい。

XLR2

XLR 端子から 2 番 HOT でアナログ音声信号を出力します。

XLR3

XLR 端子から 3 番 HOT でアナログ音声信号を出力します。

RCA

RCA 端子からアナログ音声信号を出力します。

ディスプレー自動消灯設定

DPaOFF> ＊＊＊

ディスプレー表示を自動的に消灯することができます。

- 出荷時は、「ON」に設定されています。
- 有機 EL 表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動消灯設定を ON にすることをお勧めします。

ON

10 分間操作の無い状態が続くと、表示が自動的に消灯します。

OFF

表示を自動消灯しません。

- 10 分間操作の無い状態が続くと、DIMMER 1 と同じ明るさにし、ディスプレーの消耗を防ぎます。

設定 1(続き)

オート・パワー・セーブ設定

APS> ＊＊＊

選択されている入力ソースからの入力信号がない状態が設定時間続くと、電源を自動的にスタンバイにします。

- 出荷時は、「OFF」に設定されています。
- 選択されていない入力ソースの状態は、オート・パワー・セーブの動作に影響しません。

OFF
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

設定 2

PCM 再生時のデジタルフィルター設定

PCMF> ＊＊＊

PCM 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
PCM 再生時のデジタルフィルターを使用しません。

FIR
プリエコーのないスローロールオフ特性の FIR 型デジタルフィルターを使用します。

RDOT
フルエンシー関数による独自の類推補間技術を使用したスローロールオフ特性のデジタルフィルターを使用します。

PCM 再生時のΔΣ周波数設定

PCM ΔΣ > ＊＊＊

PCM 再生時のΔΣモジュレータの動作周波数を 512、256、128 の中から選択します。
お好みの音色の設定を選択してください。

- 出荷時は「512」に設定されています。

32kHz/44.1kHz/48kHz の何倍の周波数でΔΣモジュレーターを動作させるかの設定です。
例
96kHz のオーディオソースで 512 が選択されている場合、48kHz × 512 で 24.576MHz でΔΣモジュレーターが動作します。

DSD 再生時のデジタルフィルター設定

DSDF> ＊＊＊

DSD 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
DSD 再生時のデジタルフィルターを使用しません。

ON
DSD 再生時のデジタルフィルターを使用します。

ETHERNET 端子の LED 設定

LanLED> ＊＊＊

ETHERNET 端子の LED の設定をします。OFF を選択すると ETHERNET 端子部分の LED が消灯し、音質への影響を減らすことができます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 「OFF」に設定しても、本機の電源をオンにしてから内部の初期化が終わるまで (「Initialize」表示中) や LAN ケーブルを接続した直後は LED が点滅します。

OFF
EHTERNTE 端子の LED を消灯します。

ON
ETHERNET 端子の LED の点灯 / 点滅を有効にします。

ネットワーク入力回路電源設定

NETin> ＊＊＊

ネットワーク入力回路の電源をオン、オフします。

- 出荷時は「ON」に設定されています。

ON
ネットワーク入力回路の電源をオンにし、ネットワーク経由で音楽ファイルの再生を行います。

OFF
ネットワーク入力回路の電源をオフにし、ネットワーク入力回路の動作を停止します。
入力ソースの選択肢に「NET」が表示されなくなります。

Bluetooth モジュール常時動作設定

BTstby> ＊＊＊

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

ON
Bluetooth モジュールの電源を常にオンにします。

- Bluetooth 機器の再生を開始すると、自動的に入力ソースが Bluetooth に切り換わります。

OFF
入力ソースが Bluetooth のときのみ Bluetooth モジュールの電源をオンにします。

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン (>) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

I/F
ユーザーインターフェイスファームウェア

NET
ネットワークファームウェア

BT
Bluetooth ファームウェア

M
MQA デコーダーファームウェア

FPGA
D/A コンバートデジタルプロセス FPGA ファームウェア

設定 3 表示

gotoMENU3

選択項目変更ボタン (>) を長押しすると設定 3 を表示します。

RAAT モード

- I/F ファームウェア v2.00 以降、NET ファームウェア 150 以降でこの機能に対応しています。

RAAT（Roon Advanced Audio Transport）のみで動作する RAAT モードを選択することができます。
RAAT モードでは、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うために、通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など）を停止させ、Roon コントロールアプリからのみ操作可能となります。

RAAT モードの設定方法

1 設定 2 のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。

2 本体の選択項目変更ボタン (›) を長押しする。

NETM ＞ RAAT が点滅します。

3 本体の選択項目変更ボタン (›) を再度長押しする。

RAAT モードが設定され、ネットワークプレーヤープログラムが再起動されます。再起動完了後は、Roon でのみ音楽再生ができる状態になります。

- RAAT モードで動作しているときは、本体のディスプレーに RAAT マークが表示されます。
- RAAT モードで動作させている場合、ESOTERIC Sound Stream などの OpenHome コントロールアプリや Spotify、Tidal アプリから本機は認識されなくなります。

RAAT モードから通常（NORMAL）モードに戻す方法

1 設定 2 のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。

2 本体の選択項目変更ボタン (›) を長押しする。

NETM ＞ NORM が点滅します。

3 本体の選択項目変更ボタン (›) を再度長押しする。

RAAT モードが解除されて通常モードに戻り、ネットワークプレーヤープログラムが再起動されます。再起動完了後は、OpenHome などの各サービスが使用可能になります。

設定 3

アナログ音声出力レベル設定

L_VOL> ＊＊＊

アナログ音声出力端子 (LINE OUT) の出力レベルを選択します。

- 出荷時は「ON」に設定されています。

ON

フロントパネルの音量つまみ (VOLUME) に連動して出力されます。本機で音量調節を行いたい場合に選択してください。

- アナログ音声出力端子 (LINE OUT) をパワーアンプに接続する場合は、「ON」を選択してください。

FIX

アンプ側で音量を調節したい場合に選択してください。

- DSD 信号は PCM 信号よりもやや小さい音量で再生されることがあります。音量を合わせたい場合は、「FIXL」を選んでください。

FIXL

アンプ側で音量を調節したい場合に選択してください。
PCM 信号のフルスケール 0dB 再生時の出力レベルと DSD 信号の 0dB 再生時の出力レベルが同じレベルになります。
再生された PCM 信号が DSD 信号に対して大きい音量と感じたときに使用してください。

- インテグレーテッドアンプなどの音量調節のできるアンプと接続するときは、「FIX」または「FIXL」を選択してください。
- 「FIX」または「FIXL」に設定されている場合、ESL-A PRE OUT は出力されません。

スルーアウト出力設定

THRU> ＊＊＊

シグナルスルー端子として使う入力端子を設定することができます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

スルー入力を設定しません。

LINE1
LINE2

本機での音量調節を行わず出力されるようになります。

⚠ **通常のライン機器が接続されている入力を選択してしまうと、過大な信号がスピーカーに出力され、スピーカーを破損する恐れがあります。**

ディスプレーには、音量つまみ (VOLUME) で設定した音量の代わりに「THRU」と表示されます。

例えば、AV アンプのプリアウト端子 (FRONT L/R など) を本機の LINE2 端子と接続し、LINE2 を THRU に設定すると、本機に接続されたパワーアンプに接続されたスピーカーを AV アンプのフロントスピーカーとしても共用することができます。(この場合、入力ソースに LINE2 を選択したときの音量調節は AV アンプで行います。)

- THRU に設定した入力端子の音量調節はできませんが、BAL、LVL 設定で微調整を行うことはできます。

⚠ **THRU に設定した入力端子には、必ず音量調節できる機器を接続してください。接続した機器の音量を最小にしてから入力ソースを切り換えて、接続した機器の音量を徐々に上げてください。**

ミュートレベル設定

MTLV> ＊＊＊

ミュート (MUTE) 時の音量を設定します。

- 出荷時は「–∞ dB」に設定されています。

–∞ dB

ミュート (MUTE) 時の音量を–∞ dB にします。

– 20dB

ミュート (MUTE) 時の音量を、設定されている音量から 20dB 小さくします。

リモコンの AMP ボタン設定

AMPRM> ＊＊＊

リモコンの AMP ボタンの有効 / 無効を設定します。

- 出荷時は「ON」に設定されています。
- ESOTERIC のインテグレーテッドアンプやプリアンプと接続して使う場合は、「OFF」に設定してください。

ON

リモコンの入力切換ボタン (INPUT く / ＞)、セットアップボタン (SETUP)、音量ボタン (VOLUME ＋ / ー)、ミュートボタン (MUTE) を有効にします。

- L/R バランス調整 (BAL>)、入力ゲイン調整 (LVL>) の設定は、リモコンを使って行います。(27 ページ)

OFF

リモコンの入力切換ボタン (INPUT く / ＞)、セットアップボタン (SETUP)、音量ボタン (VOLUME ＋ / ー)、ミュートボタン (MUTE) を無効にします。

- L/R バランス調整 (BAL>)、入力ゲイン調整 (LVL>) の設定は、設定 1 で行います。

リモコン入力端子 (RS-232C) 設定

RS232C> ＊＊＊

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用時のみ「ON」に設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用しません。

ON

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用します。

トリガー信号出力設定

TRIG_O> ＊＊＊

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

トリガー信号を出力しません。

ON

トリガー信号を出力します。

トリガースタートソース設定

TRGst> ＊＊＊

トリガー入力で電源オンとなる場合に、入力ソースを選択することができます。

- 出荷時は「LAST」に設定されています。

LAST

電源スタンバイ時に選択されていた入力ソースで電源オンします。

THRU

THRU 設定された入力ソースで電源オンします。

メモ

トリガー出力のある AV アンプと本機をトリガー接続し、AV アンプのフロント L/R 出力を N-05XD のアナログ入力に接続します。次に接続した端子名をスルーアウト出力設定（THRU>）に設定します。
AV アンプの電源をオンにすると、自動的に AV アンプから接続されている入力ソースが選択され、そのまま AV 環境の再生を行うことができます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (41 ページ) にご連絡ください。

一般

電源が入らない
- ➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➡ 電源コードと本機の接続を確認してください。
- ➡ 電源コードが接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。

電源が自動的にスタンバイになる
- ➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がスタンバイになっています。
  本体の電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにしてください。
  必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(30 ページ)

ボタンを押しても反応しない
- ➡ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする
- ➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない、音が歪む
- ➡ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。
- ➡ アンプなどの音量を調節してください。
- ➡ 一時停止中は音が出ません。アプリを操作して、通常の再生に戻してください。
- ➡ アナログ音声出力設定 (LOUT>) を確認してください。(29 ページ)

クロック同期

クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない
- ➡ クロック同期を使用しない時は、クロック設定 (CLK>) で「OFF」を選んでください。
- ➡ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロック入力端子 (10MHz IN) の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る
- ➡ クロック同期モード時にスピーカーから「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る場合は、接続しているソース機器がクロック同期モードになっていない可能性があります。クロック入力端子 (10MHz IN) の接続状態や、接続している機器のクロック同期の設定を確認してください。

ネットワーク再生

入力ソースの選択肢に「NET」が表示されない
- ➡ ネットワーク入力回路電源設定 (NETin>) を ON にしてください。

(正常に) 再生できない音楽ファイルがある
- ➡ メディアサーバー (NAS) によってそれぞれ対応ファイルの種類が異なります。メディアサーバー (NAS) の仕様も併せてご確認ください。

音が途切れ途切れに再生される
- ➡ 44.1kHz などの低いビットレートや MP3 などの不可逆圧縮のファイルでは正常で、384kHz などの高いビットレートや FLAC などの可逆圧縮ファイルで音が途切れる場合、ETHERNET の速度が不足している可能性があります。
  オーディオデータは、NAS からルーターを経て本機へと伝送されますので、NAS とルーター、ルーターと本機が、有線 LAN ケーブルで接続されているほうが有利です。

パソコンとの USB 接続

パソコンで本機が認識されない
- ➡ 対応するパソコンの OS は、23 ページをご覧ください。対応していない OS での動作保証はいたしかねます。

雑音がする
- ➡ 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。
- ➡ 本機とパソコンを USB ハブなどを介して接続していると雑音が出ることがあります。そのような場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない
- ➡ パソコンと本機を接続して「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

困ったときは (続き)

Bluetooth 接続

機器名が表示できない

➡ 本機は、記号、2 バイト文字 (日本語、中国語など) の表示に対応していません。
本機と接続する Bluetooth 機器のデバイス名は全て英数文字をお使いください。

接続する Bluetooth 機器を変更できない

➡ 本機は複数の機器と同時に Bluetooth 接続することができません。
本機と Bluetooth 接続する機器を変更するには、本機と接続中の Bluetooth 機器の接続を切ってから別の Bluetooth 機器と接続してください。

音が出ない、音が小さい

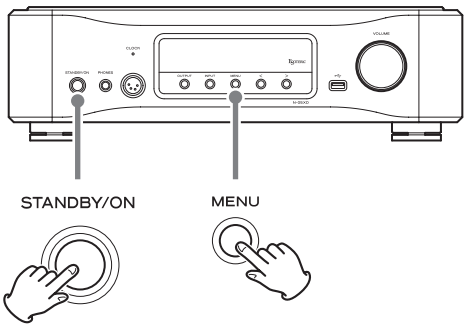
➡ Bluetooth 機器の音量が上がっていることを確認してください。再生側の音量を上げないと本機から音が出ない場合があります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に操作できるようになります。

出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。
以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 電源をスタンバイにする。

電源がオンの場合は、電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をスタンバイにしてください。

2 メニューボタン (MENU) を押しながら電源ボタン (STANDBY/ON) を押す。

ディスプレーに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたらメニューボタン (MENU) から指を離してください。

仕　様

デジタル音声入力

XLR ..... 1 系統
　入力レベル ..... 5.0 Vp-p
　入力インピーダンス ..... 110 Ω
　入力信号形式
　　DSD (ES-LINK1、ES-LINK2)
　　2.8 MHz

COAXIAL ..... 2 系統
　入力レベル ..... 0.5 Vp-p
　入力インピーダンス ..... 75 Ω

OPTICAL ..... 2 系統
　入力レベル ..... – 24.0 ～ –14.5 dBm peak

XLR、COAXIAL、OPTICAL 共通
　入力信号形式
　　リニア PCM（AES/EBU、IEC60958 フォーマット）
　　32 ～ 192 kHz、
　　16 bit、24 bit
　　DSD（DoP フォーマット）..... 2.8 MHz

USB ..... 1 系統（B 端子）
　　USB2.0 以上推奨
　入力信号形式
　　リニア PCM ..... 44.1 ～ 384 kHz
　　16 bit、24 bit、32 bit
　　DSD
　　2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.5 MHz

ETHERNET 1
　　(1000BASE-T)

USB ドライブ端子 2
　対応ファイルシステム
　　FAT32、exFAT または NTFS
　　シングルパーティション
　　USB2.0 以上推奨
　最大供給電流 ..... 0.5 A

ETHERNET、USB ドライブ端子共通
　入力信号形式
　　リニア PCM ..... 44.1 ～ 384 kHz (ステレオ)
　　16 bit、24 bit、32 bit
　　DSD ..... 2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.5 MHz
　　(ステレオ)
　対応ファイルフォーマット
　　PCM ロスレス ..... FLAC、ALAC、WAV、AIFF、MQA
　　DSD ロスレス .....DSF、DSDIFF（DFF）、DoP
　　圧縮オーディオ ..... MP3、AAC

アナログ音声入力

XLR ..... 1 系統 (L/R)
　入力インピーダンス ..... 50k Ω
　最大許容入力電圧 8Vrms
RCA ..... 1 系統 (L/R)
　入力インピーダンス ..... 25k Ω
　最大許容入力電圧 4Vrms

クロック入力

BNC 1
入力可能周波数 (± 10 ppm) ..... 10 MHz
入力インピーダンス ..... 50 Ω
入力レベル
　矩形波 ..... TTL レベル相当
　サイン波 ..... 0.5 ～ 1.0V rms

アナログ音声出力

XLR/ESL-A ..... 1 系統 (L/R)
RCA ..... 1 系統 (L/R)
ESL-A PRE OUT ..... 1 系統 (L/R)
出力インピーダンス
　XLR ..... 220 Ω
　RCA ..... 60 Ω
出力レベル (PCM フルスケール信号入力、アナログ音声出力レベル設定 FIX 時)
　XLR ..... 5.0 Vrms
　RCA ..... 2.5 Vrms
周波数特性 ..... 5 Hz ～ 75 kHz (– 3 dB)
S/N 比 ..... 105 dB
歪率 ..... 0.0015% (1 kHz)

- アナログ音声出力レベル設定が「FIX」または「FIXL」に設定されている場合、ESL-A PRE OUT は出力されません。

ヘッドホン出力

6.3mm ステレオ標準ジャック 1
4 ピン XLR ジャック 1
実用最大出力
　アンバランス出力 ..... 750mW+750mW(32 Ω負荷)
　バランス出力 ..... 1500mW+1500mW(32 Ω負荷)
適合負荷インピーダンス ..... 16 ～ 600 Ω

仕　様 (続き)

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン 4.2
出力クラス Class2
(見通し通信距離 *: 約 10m)
対応プロファイル..... A2DP、AVRCP
対応 A2DP コーデック..... LDAC、LHDC、
Qualcomm®aptX ™ HD audio、
Qualcomm®aptX ™ audio、
AAC、SBC
A2DP コンテンツ保護 ..... SCMS-T
ペアリングメモリ数 ..... 最大 8

* 通信距離は目安です。周囲の環境や電波状況により変わる場合があります。

外部コントロール

RS-232C 1
トリガー入力 ..... 1 (3.5mm モノラルミニジャック)
入力レベル ..... 12V、1mA
トリガー出力 ..... 1 (3.5mm モノラルミニジャック)
出力レベル ..... 12V、100mA max

一般

電源 ..... 100 V AC 50/60 Hz
消費電力 ..... 38 W
スタンバイ時
リモコン入力端子 (RS-232C) 設定 OFF 時.....0.3W
リモコン入力端子 (RS-232C) 設定 ON 時 0.7W
外形寸法 ..... 445 mm x 131 mm x 377 mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 ..... 13.8 kg
許容動作温度..... ＋ 5 ℃～＋ 35 ℃
許容保管温度..... − 20 ℃～＋ 55 ℃

付属品

電源コード× 1
リモコン (RC-1334) × 1
リモコン用乾電池 (単 3) × 2
フェルト× 3
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、AV お客様相談室もしくはティアック修理センター (41 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

35 ページの「 困ったときは 」に従って調べても、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (41 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ネットワークDAC/プリアンプ N-05XD
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

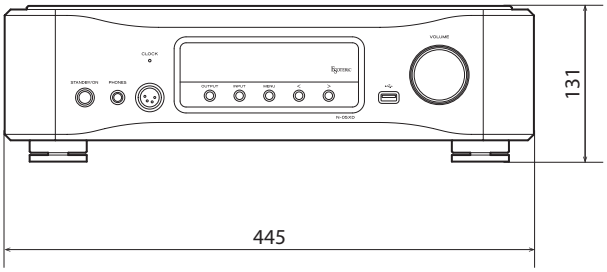
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

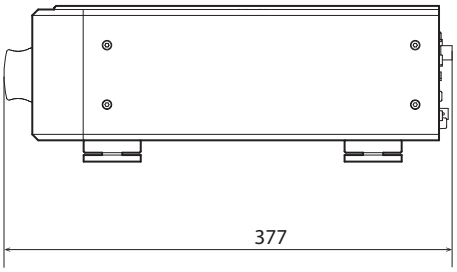
分解・改造禁止

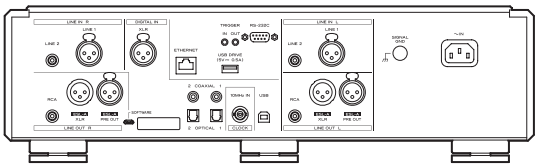
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

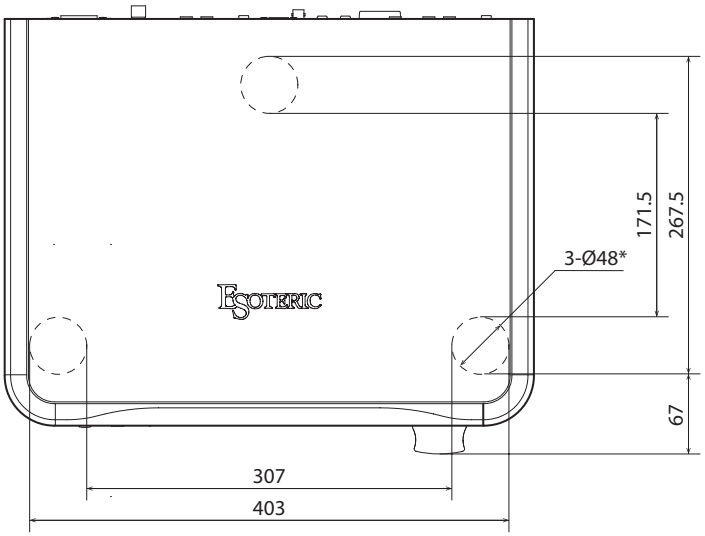
寸法図







フット配置図



単位：mm

* 直径 48mm フット× 3

ティアック株式会社
〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47

https://www.esoteric.jp/jp/
ESOTERIC ウェブサイト ▶

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒 358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



ティアック株式会社

PRINTED IN JAPAN 1125 MA-3240H